

2022年1月 (No.391)

主な内容とページ

求められる三位一体の半導体戦略	1
アップル、世界初の時価総額 3 兆ドル.....	2
世界最大の半導体ユーザー	2
MAKE BUY SELL 戦略の展開.....	3
日本の大手電機と半導体.....	5
政府は、場作りと人員の訓練支援を.....	8
失われた 30 年からの脱却.....	9
主役交代(SRL だより).....	10

求められる三位一体の半導体戦略

半導体は、「作る」だけでなく「買う」そして「売る」。この三要素を通じた最適化・最大化が不可欠だ。

1. 作る面では、わが国政府は外資の導入を昨年決定。これによって半導体の国内生産は維持される。
2. 半導体の需要先である日系情報通信家電は、苦戦を継続。巨大テック(GAFAM)を擁す米国、韓国はスマートフォン、台湾はパソコンで存在感を示し、これが半導体の競争力を支えている。
3. 三位一体に基づく総合戦略の展開により、新たな発展策を行うべきだ。

主役交代

TSMC は今年の設備投資額として 440 億ドル(約 5 兆円)を計画していることを発表した。この会社の 21 年通年の売上高は 568 億ドルで、年商に近い金額を投資に振り向ける。それでも旺盛な需要に応じるには、充分ではないかもしれないという見方もある。

振り返れば同じことは日本、韓国、台湾でもかつてみられた。要するに発展過程において市場の要求に適合、その結果注文が殺到し、追いつかない。いずれは、落ち着いてくるのだが、半導体の場合は、少しでも油断すると競合に市場を奪われる。それでも従来はせいぜい兆円以下の規模だったが、最近は、巨大な額だ。

別の見方をすれば、このような大変革を通じて主役が交代する。半導体の生産は、一握りの一貫生産 (IDM) とファブレス・ファウンドリになり、中途半端な半導体メーカーは整理されるかもしれない。半導体製品それを使うユーザーのトップは、受託先の最も先端かつ効率的なラインを押さえたところになるのだろうか。構造変化が進展している。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2022 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2022 年 1 月(毎月 1 回発行)第 33 巻 1 号(通巻 391 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒188-0014 東京都 西東京市 芝久保町 3-1-35

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

SRL Monthly Report

January 2022, No.391

Semicon Research Ltd.

3-1-35 Shibakubo-Cho, Nishitokyo-City, Tokyo 188-0014 Japan

Mail: info@semiconresearch.co.jp

Publisher/Editor Osamu Ohtake

© (株)SRL 2022

購読料金 1 年分(12 号)98,000 円(税別) 107,800 円(税込み)